

情報

## レインボーアガマ *Agama agama* の体表から得られた Pterygosomatidae 科ツツガムシ類の記録

志智優樹<sup>1)</sup>, 鈴木夏海<sup>2)</sup>, 土井寛大<sup>3)</sup>, 大橋赳実<sup>2)</sup>, 小沼 守<sup>1)</sup>,  
徳永有喜子<sup>4)</sup>, 田中 治<sup>4)</sup>, 浅川満彦<sup>5)†</sup>

1) 大相模動物クリニック 2) 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 3) 日本獣医生命科学大学大学院 野生動物学研究室  
4) クウ動物病院 5) 酪農学園大学 獣医学群 獣医保健看護学類

2018年4月、関西地域の某動物病院に来院したレインボーアガマ *Agama agama* (年齢不明、雌) の外貌肉眼検査により、体表に赤色の微小な外部寄生虫が認められたため、歯ブラシにより擦過したところ、3個体が得られた。なお、除去後の皮膚に顕著な損傷部は認められなかった。

得られた外部寄生虫は70%エタノールで固定および保存した。これらを光学顕微鏡下で観察し、各部位をエリアカーブメータ (X-Plan 380d III、牛方商会、神奈川県) を用い測定した。

その特徴的な外観から Diong and Ho<sup>[3]</sup> や Baker<sup>[1]</sup> でアガマ類として報告のある Pterygosomatidae 科ツツガムシ類である *Pterygosoma* 属の特徴と一致した。得られた虫体は、いずれも未熟な虫卵を2ないし3個内蔵した雌成虫で、Baker (2017) が pre-adult stage と記述したものに相当するものと考えられた。おもな測定値は体長 (鋏角を含め) 740 ~ 845 μm、体幅 1160 ~ 1214 μm、顎体部の鋏角は2つに分かれ、その長さは 158 ~ 165 μm であった。また、胴体部剛毛の長さは 119 ~ 427 μm であった。

Baker<sup>[1]</sup> によると、アガマ類から報告されている *Pterygosoma* 属の種は57種が知られ、地理的分布としてはアジアも含まれるが、日本での記録は無く、今回、初めての報告である可能性が高い。今回の種は pre-adult stage であること、既知種との詳細な比較から、種名は断定できなかった。なお、Bertrand and Modry<sup>[2]</sup> によると、イグアナ類でダニ類を集約的に寄生させたところ、病害を拡大させない構造物 mite pocket が体表につくられたとあり、アガマ類でも類似の構造が確認されていたが、今回の宿主個体ではそのような構造は確認できなかった。

### 引用文献

- 1) Baker, A. S. 2017. A redescription of *Pterygosoma aegyptiaca* Mostafa (Acari: Prostigmata: Pterygosomatidae), a little known ectoparasitic mite of spiny-tailed lizards (Squamata: Agamidae), with new morphological data for the Pterygosomatidae. *Syst. Appl. Acarol.*, 22: 1970-1988.
- 2) Bertrand, M. and Modry, D. 2004. The role of mite pocket-like structures on *Agama caudospinosa* (Agamidae) infested by *Pterygosoma livingstonei* sp. n. (Acari: Prostigmata: Pterygosomatidae). *Folia Parasitol.*, 51: 61-66.
- 3) Diong, C. H. and Ho, T. M. 2001. Note on the scale mite *Pterygosoma neumanni* (Acarina: Prostigmata: Pterygosomatidae) from the agamid lizard host *Calotes versicolor*. *Raff. Bull. Zool.*, 49: 197-198.

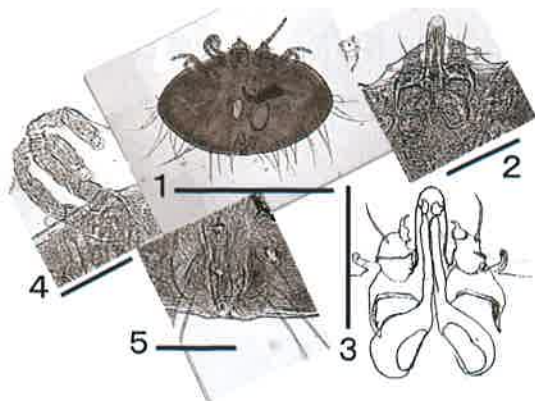


図1. レインボーアガマ *Agama agama* 体表から得られた *Pterygosoma* sp.-1: 雌、腹側; -2および-3: 顎体部、拡大像; -4 右側第IおよびII脚; -5: 体後端、拡大像。スケールbarは-1が1 mm、-2~-5が0.1 mm。

†連絡責任者: 浅川満彦 (酪農学園大学 獣医学群) 〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 E-mail: askam@rakuno.ac.jp